

2023年度 第2回市民メンタルヘルス講座

みんなで考えようこころの健康

(横浜市受託事業)

統合失調症の現在地と

高等学校での精神疾患教育

最近、統合失調症は軽症化している、入院しないで通院のみの人が多いなどの声がよく聞かれます。また、薬物治療だけではなく様々な心理療法などが行われる機会が増えてきました。しかし、在宅で社会とのつながりを持たず過ごしている当事者も数多くいます。統合失調症は今どのように捉えられ、どのような治療が行われ、どのように回復しているのでしょうか。

「病気をもって大丈夫という回復のあり方と社会を目指して」をテーマに統合失調症の研究の第一人者としてご活躍の笠井清登先生に統合失調症の現在地についてお話していただきます。

また、思春期統合失調症の研究もされていられることから、昨年度から始まった高等学校での精神疾患教育の意義や目指すものについてお話していただきます。

日時 2023年10月28日(土)

13:30~16:00(開場13:00)

会場 横浜市健康福祉総合センター4階ホール
横浜市中区桜木町1-1

講師 笠井 清登 氏 精神科医
東京大学医学部附属病院精神神経科教授

定員 300名(先着順)

入場無料

主催 NPO法人横浜市精神障害者家族連合会(浜家連)^{はまかれん}

問い合わせ: ☎045-548-4816 (担当 中居)

Eメール: ysskr@bloom.ocn.ne.jp

笠井清登氏 プロフィール

子ども・思春期を横浜で過ごし、高校時代は本建物内のボランティアセンターに通う。1995年東京大学医学部医学科卒業後、東京大学医学部附属病院や国立精神神経センターなどで精神科臨床のトレーニングを積む。

2000年～2002年に米国ハーバード大学医学部精神科にて精神疾患のMRI 研究に従事。

帰国後、東京大学附属病院精神神経科で臨床、教育、研究に従事。

2008年から現職。

統合失調症の理解と支援、思春期の脳とこころの発達、ダイバーシティとインクルージョンの実践や研究に従事している。

主な著書に「統合失調症[講座精神疾患の臨床]」、「人生行動科学としての思春期学」、「女性のこころの臨床を学ぶ、語る」他多数。

会場案内



★JR 京浜東北線 桜木町駅徒歩3分

★横浜市営地下鉄 桜木町駅徒歩3分